



こんにちは、 子育て支援センターです

大口町立北保育園の建て替えをきっかけに、保育士の現場目線での意見を取り入れた、大口町初の子育て支援センターが夏休み期間限定でプレオープンしました。利用者数は約500組。改善点を踏まえ、10月2日(月)新たにオープンを迎えます。

大口町でも進む核家族化

昨年大口町では241人の新しい命が誕生しました。

誕生の瞬間、お母さんは出産の不安や大変さから解放されたれ、心から安堵します。そして産まれたばかりの愛おしい我が子を抱き、母親としての第一歩を踏み出します。

それと同時に生活もガラリと変わり、子ども中心の生活になります。特に新生児の時期は片時も目を離すことができません。ひたすら子ども





▲受け付けで名札を受け取ります

と向き合う時間が過ぎていきます。そして日々めざましく成長する子ども。一つひとつできることが増え、健やかな子どもの成長に喜びを感じる一方で、「これでいいのか」「どうして?」など、不安や悩みが尽きません。近年、核家族化、少子化、そして地域社会の希薄化により身近なところを頼る人がいないなど、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。

大口町では、こうした中で安心して子育てができるよう、子育て支援センターを開設しました。

センターには30年以上大口町の子どもたちの成長を見届けてきたベテラン保育士が常勤しています。また、



▲親子でふれあい遊び

子育てコンシェルジュ(案内人)の資格を持ち、ご家庭の状況に応じて保護者からの相談を受け、それぞれのニーズに合った支援や情報を分かりやすく提供してくれます。保護者のほか、祖父母や妊産婦の方でも相談できます。

親子でリフレッシュ

子育て支援センターは、今年建て替えられたばかりの木造平屋建て新園舎大口町立北保育園の東側にあります。

室内は広々として開放感があります。



▲カラフルなおもちゃが並んでいます

授乳室、大人用と子ども用トイレ、洗面所が完備されています。床は畳が敷きつめられ、明るく木の香りと温もりを感じます。

センターは妊産婦や0歳から就園前のお子さんを持つ親子が自由に遊ぶことができるふれあいの場所。利用者には自由遊び後、親子ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを楽しめます。



他にも、同世代で子育てをしている人たちと交流することで共感したり、子育ての情報交換をすることができます。しかし中には、子どもが見知りで泣いたりして、周りに迷惑をかけてしまうのではないかと不安になるお母さんも少なくありません。

保育士は、「個人差がありますが、人見知りは自然な成長過程の一つ。気にすることはありませんよ」また、初対面の人と話をするのが苦手なお母さんには「センターには子育てのヒントや癒しを求めるお母さんも



▲4名の保育士が常勤しています



◆ 子育て支援センター ☎95-3668

● 子育て相談・ふれあい遊び他 

対象者 0歳から3歳までのお子さんとその保護者・妊産婦
 開所日 日曜日から金曜日
 利用時間 午前10時から正午 午後1時から3時

◆ 保育園の園庭開放

● ふれあい遊び・紙芝居など 

場所 南・西・北・大口中保育園
 対象者 入園前のお子さんとその保護者
 開所日 広報おおぐち「保育園だより」をご覧ください。
 利用時間 午前10時から11時

◆ 児童センター

● 体操、親子触れ合い遊び、コーナー遊び、
 絵本の読み聞かせ、親子遊びなど 

場所 めだか広場（南児童センター）
 コアラ広場（北児童センター）
 ちびっこ広場（西児童センター）
 対象者 0歳から3歳までの親子
 開所日 広報おおぐち「児童センターだより」をご覧ください。
 利用時間 午前10時30分から11時30分

訪れます。子どもと向きあい寄り添って遊んでいる方もいますよ。無理にお話をしようとしなくても大丈夫です。お母さんが笑顔でいることが子どもにとって一番です。気軽に遊びにきてください。お母さんは心配事がたくさんありますね。一生懸命やっても思うようにならないこともあり、ストレスが溜まってしまいます。そんなときは一人で抱え込まず、センターに相談してください」と話されます。

プレオープンを利用して

プレオープン期間中に、センターを利用したお母さんにお話を伺いました。
0歳児を持つお母さん
 何もかもきれいで嬉しくなります。おもちゃが年齢別に分けてあるので、子どもの成長に合ったおもちゃを与えることができます。
1歳児を持つお母さん
 気晴らしにきてみました。保育士の

方が声をかけてくださるので、頼もしいです。木の香りがする部屋で子どももご機嫌で遊んでくれています。

2歳児を持つお母さん

子どもが好んで遊ぶおもちゃが分かります。家では、大人の中に子どもが1人いる環境なので、子ども同士が遊べる環境で成長してほしいと遊びにきています。

3歳児を持つお母さん

木のおもちゃがたくさんあり飽きずに遊んでくれます。一つしかないおもちゃを譲ることを覚えたり、自然に集団のルールが身につけばと思っています。

取材にて

子育て支援センターに取材に伺った日がプレオープン初日ということもあり、大勢の親子が訪れていました。

室内では、お母さんがおもちゃで遊ぶ子どもをそばで見守るようになり、親子のふれあい遊びが始まると、お母さんと向き合って、嬉しそうな子どもたちの笑顔が印象的でした。

大口町は同居世帯が比較的多い町で、かつてはご近所など親以外にも



子育てを支える環境がありました。しかし近年は核家族化が進み、町内でも子育ての孤立化が増えてきているそうです。実際、お話を伺ったほとんどの家庭が核家族でした。

子育てには、周りの協力が必要不可欠です。子育ての不安や悩みを持つ子育て世代が、楽しく子育てができるよう地域ぐるみで見守り、支え合うことも大切ですね。

大口町では子育て支援センターの他に、保育園の園庭開放日や、児童センター（めだか広場・コアラ広場・ちびっこ広場）を利用することができます。ぜひ親子でご利用ください。